

成果の説明書

(氏名) 塩澤康平	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>個人の選好を調査するための実験手法について、共同研究に取り組んでいる。</p> <p>予算制約下での分配の実験において用いられる、分配に関する選好のモデル（CES 型効用関数モデル）の問題点を理論的に示すための枠組みを定義し、結果を得た。標準的な CES 型効用関数のみでなく、その派生型として提案されている様々な効用関数が、本質的に同様の欠点（代替パラメータの極限において分配パラメータが意味を成さなくなるという欠点）を持つことを示した。新たな CES 型効用関数を定式化し、同様の欠点を持たないことを示した。昨年度までの研究成果を含めて、これらの結果を論文としてまとめた。</p> <p>また、時間選好の実験に関するモデル（CES-QHD モデル）の問題点を指摘する論文について、修正を行い、査読付き学術誌への再提出を行った。</p> <p>企業の形成を扱うための一般均衡モデルについて、共同研究を実施している。均衡の存在問題を分析し、いくつかの結果を得た。現在は成果の取りまとめを行っている。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>予算制約下でのリスク選好を調査するための実験で、被験者の行動データを分析する手法について、関連する文献の調査を実施した。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <ul style="list-style-type: none">・分配に関する選好のモデルについて、論文を修正し、査読付き学術誌に投稿する。・顕示選好理論的な分析手法、または、パラメトリックな効用関数から導出される回帰モデルの残差項のモデリング手法について、研究を実施する。	